

**デザインビルド型小規模ESCO**

- ・フィージビリティスタディ (FS調査) は実施しない (無料省エネ診断等によりベースライン算定)
  - ・設備改修のイニシャルコストを小規模補正費として上乗せする「出っ張りESCO」
  - ・優先交渉権者を簡易プロポーザルで選定後、事業スキームを詳細検討し、正式契約
- ⇒H23.8.16 保健センターで正式契約  
 (ESCOサービス料：4,903.5千円/年 契約期間10年 削減保証額▲1,693千円/年)  
 ⇒市役所本庁舎、図書・博物館と5つの福祉会館など7施設をバルクしたスキームで提案募集へ

**【ポイント】**

従来のESCOの敷居 (通説)	解決策 (敷居の下げ方)	ヒント
5,000~10,000㎡以上の施設規模	イニシャルコストの一部上乗せ	佐倉市「出っ張りESCO」
フィージビリティスタディ	省エネルギーセンター 無料省エネ診断	福岡市「省エネ診断事業」
ESCO、建築設備等の専門知識	デザインビルド型 (事業者の先行決定)	大阪市「簡易公募ESCO」

**【ESCO、DB型小規模ESCO、DB型小規模バルクESCOのスキームとメリット】**

<p>通常のESCO</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イニシャルコストをかけず設備改修・更新</li> <li>・機器所有リスク移転(契約期間内の保守管理不要)</li> <li>・契約期間内の光熱水費(CO2)削減を保証 (保健センターで▲1,700千円/年)</li> </ul>
<p>デザインビルド型小規模ESCO(保健センター)</p>	<p>通常ESCOのメリットに加え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FS調査のコスト削減(▲1,000千円)</li> <li>・小規模施設でのESCO実施 (保健センター2,310㎡)</li> <li>・専門知識が不要</li> <li>・期間の短縮化</li> <li>・提案者と協議しながらスキーム構築</li> </ul>
<p>デザインビルド型小規模バルクESCO  <b>【コア】市役所、図書・博物館【バルク】5福祉会館</b></p>	<p>DB型小規模ESCOのメリットに加え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FS調査のコスト削減(▲1,000千円×施設数)</li> <li>・小規模施設(1,000㎡以下)にも補助金活用 (環境省1/2、NEDO1/3など)</li> <li>・リスク分散による事業リスク低減</li> <li>・工事のバンドリングによる上乗せ額削減</li> <li>・手続きの一括化による事務量削減</li> </ul>

**【事業スキーム立案の考え方】**

